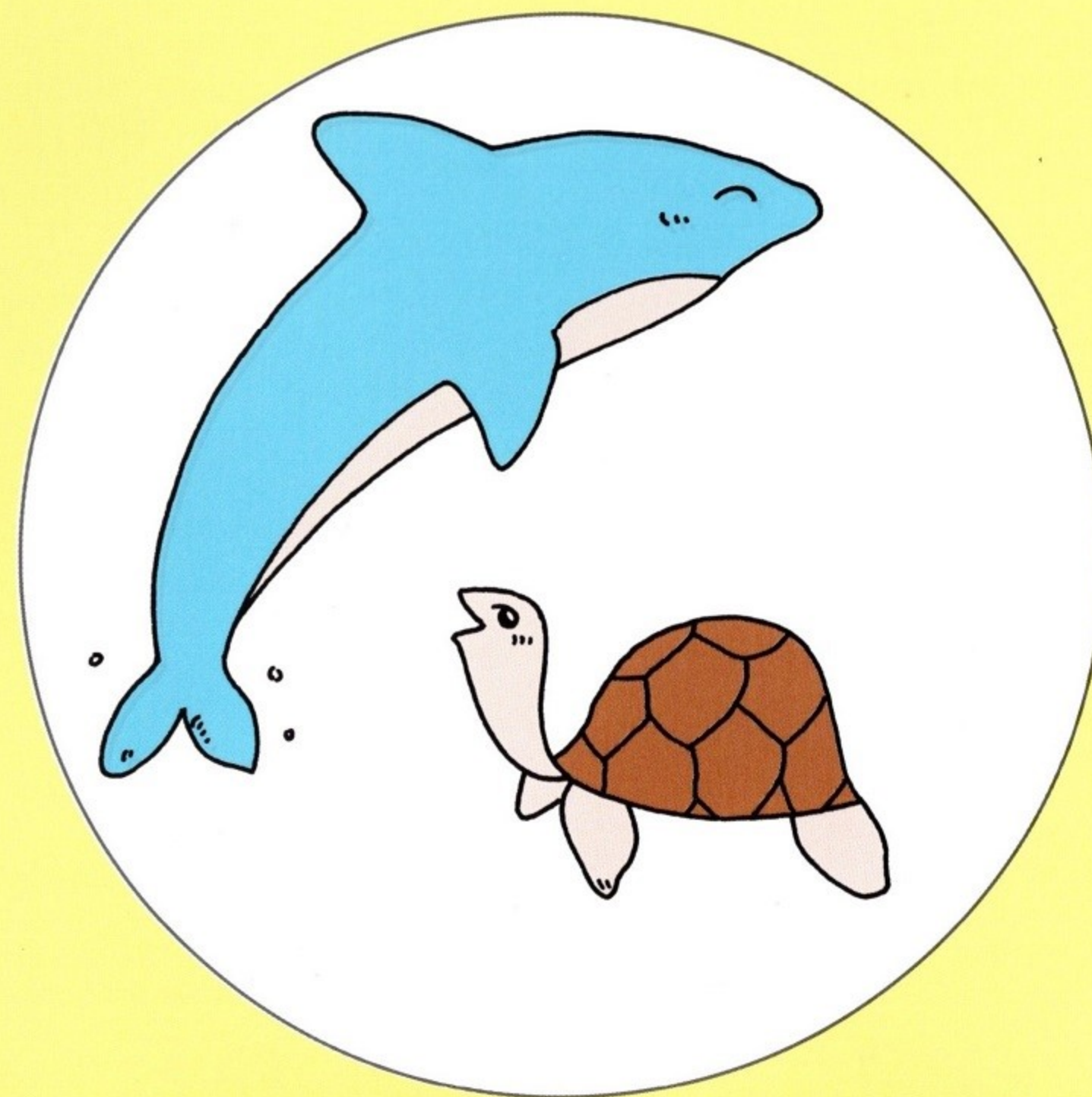


幼児のための知能開発ワーク

# すくすくどんどん

7





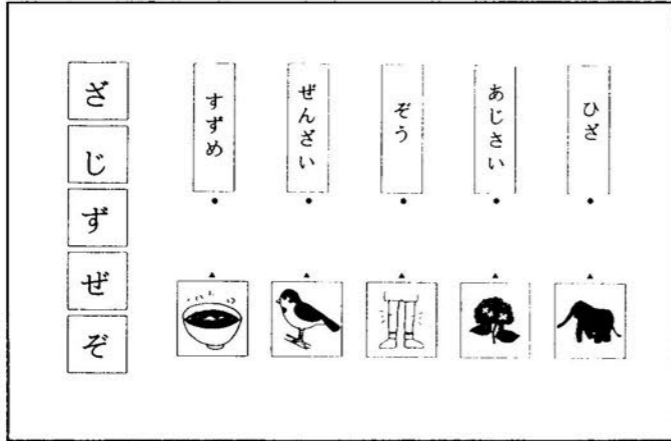
## 〈 目次 〉 Aシリーズ7号

分野	学習項目	ページ	学習内容	
A. 言語	濁音（ざ行）	1	◎濁音「が」～「ご」の読み	
		2	「 <sup>・</sup> 」がつくとどんなことばになるか考える	
	同尾語（な行）	3		
	ひらがな（さ行）	4	○ひらがなのことばを読んで、それにあう絵を選ぶ	
	ひらがな（た行）	5	○空所にひらがなを入れて、ことばを完成させる	
	（た行）	6		
	反対語	7	意味が反対のことばを対で覚える	
	歌	8	「大きなたいこ」	
B. 図形	書く（模写）①	9	お手本と同じになるように、しるしを書き入れる	
		②	10	お手本と同じになるように、線で形をかく（棒を並べる）
		③	11	お手本と同じになるように、もように色をぬる
	同図形発見 ①	12	全体の中からお手本と同じ並びの箇所をさがす（図形）	
		②	13	（文字・数字）
	異図形発見 ①	14	2つの絵を比べて、違っているところをさがす	
		②	15	
	重ね図形 ①	16	重なった絵の中に何の絵があるか	
		②	17	2枚の模様をそのまま上から重ねる
		③	18	2つの模様を、紙を折って重ねる
C. 数・量	数の多少 ①	19	2種類のものを線でむすんで対応させて、多少を比べる	
		②	20	2種類の物の数を数えて、どちらが多いかを判断する
		③	21	
	たし算 ①	22	◎たし算の基礎	
		②	23	たす4
		③	24	たす5
		④	25	
	長さ比べ ①	26	3つ以上のものの長さを比べて、順番に並べる	
		②	27	長さを数であらわす
	3者比較 ①	28	3つの物の高さを間接的に比べる	
		②	29	3つの物の重さを間接的に比べる
	D. 記憶	お話の記憶 ①	30	◎個々の要素の関係に着目して、記憶する
			②	31
絵の記憶（記憶）		32		
		（解答）	33	
数の記憶	34			
E. 常識	明るさ	35	明るさを比べる	
	買物と店	36	買った品物から、2人が行った店はどこかを考える	
	職業	37	仕事の内容・用具・場所をむすぶ	
F. その他	系列完成 ①	38	2～3種類の物の連続パターン	
	②	39	数字の並び（1-10）、～より大きい数、小さい数	
	③	40	ドッツの並び（1-10）	

1

言語／濁音（ざ行）

A 7



【問題】

（左はしのひらがなを読んで、復唱させて下さい。）

「ざ」「じ」「ず」「ぜ」「ぞ」

1. 上の段のことはを1つずつ読んで、それにあう絵と線で結びましょう。
2. 上の段のことはで、最後に「ざ」のつくものに、赤の○をつけて下さい。  
左はしのひらがなの「ざ」にも、赤の○をつけておきましょう。
3. 上の段のことはで、「じ」がつくものに、緑の○をつけて下さい。  
左はしのひらがなの「じ」にも、緑の○をつけておきましょう。
4. 上の段のことはで、「ず」がつくものに、青の○をつけて下さい。  
左はしのひらがなの「ず」にも、青の○をつけておきましょう。
5. 上の段のことはで、最初に「ぜ」のつくものに、茶色の○をつけて下さい。  
左はしのひらがなの「ぜ」にも、茶色の○をつけておきましょう。
6. 上の段のことはで、最初に「ぞ」のつくものに、紫の○をつけて下さい。  
左はしのひらがなの「ぞ」にも、紫の○をつけておきましょう。

【解答】

1. 
2. ひざ
3. あじさい
4. すずめ
5. ぜんざい
6. ぞう

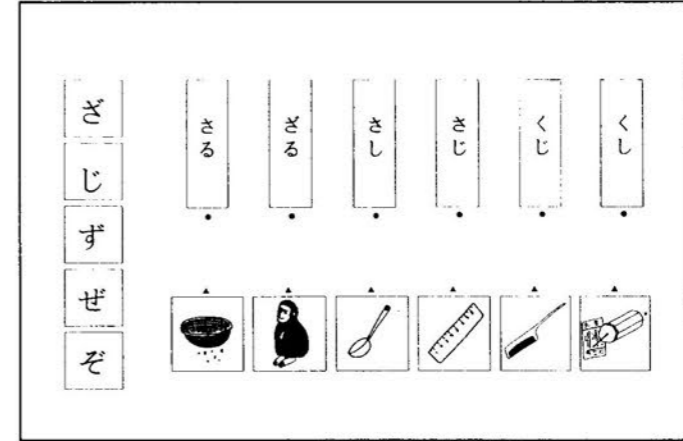
【指導のポイント】

ことはを1つずつ指で示しながら読んであげて、子どもにも復唱させて下さい。最初から無理にひらがなを読ませようとせずに、読み方を耳で聞かせながら、対応する文字を目で確認させることが大切です。

2

言語／濁音（ざ行）

A 7



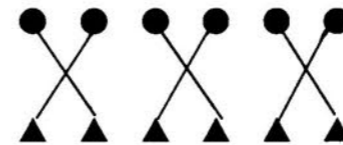
【問題】

（左はしのひらがなを読んで、復唱させて下さい。）

「ざ」「じ」「ず」「ぜ」「ぞ」

- 上の段のことはを1つずつ読んで、それにあう絵と線で結びましょう。「ず」に気をつけて、まちがえないように選んで下さい。

【解答】



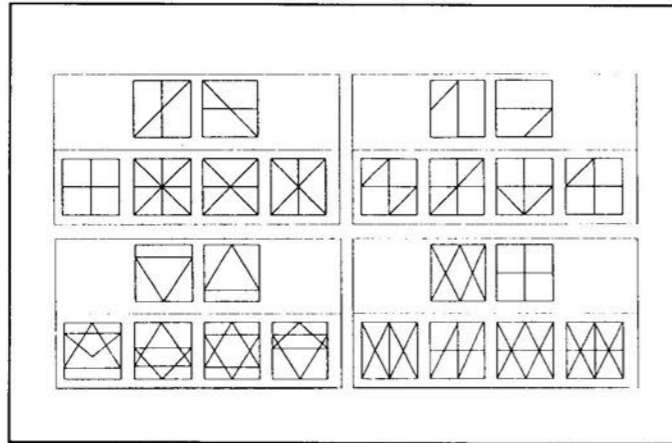
【指導のポイント】

ことはを1つずつ指で示しながら読んであげて、子どもにも復唱させて下さい。最初から無理にひらがなを読ませようとせずに、読み方を耳で聞かせながら、対応する文字を目で確認させることが大切です。

17

## 図形／重ね図形②

A7



## 【問題】

この問題のもようは、全部透き通った紙に書いてあります。  
 (四角のわくの中の) 上の段の左のもようを、右のもようの上に重ねたら、どんなもようができるでしょうか。

下の段から選んで、緑の○をつけて下さい。

## 【解答】

(左上) → 左から2番目                      (右上) → 左はし

(左下) → 左から3番目                      (右下) → 右はし

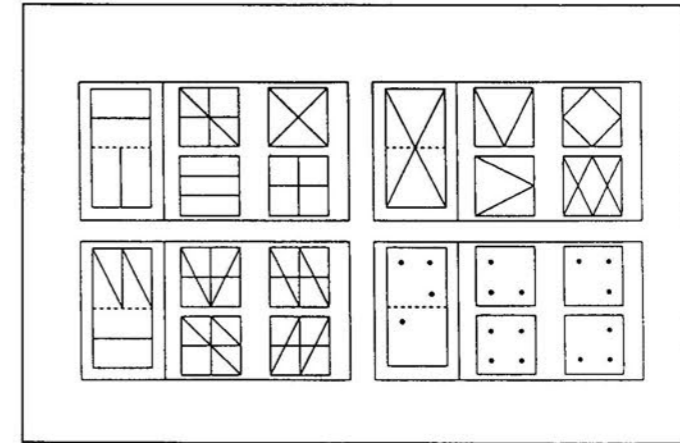
## 【指導のポイント】

子どもにとっては、とてもむずかしい問題です。まずは、透明の下敷きや教具などを使って、実際に2つの絵や模様を重ねて見せてあげて下さい。重ねる前と、重ねた後の様子をよく観察させて、問題の意味をしっかりと理解させましょう。

18

## 図形／重ね図形③

A7



## 【問題】

この問題のもようは、全部透き通った紙に書いてあります。  
 (四角のわくの中の) 左側の長方形の紙を、まん中の点線で上に折ったら、どんなもようができるでしょうか。

右側から選んで、紫の○をつけて下さい。

## 【解答】

(左上) → 右下                                      (右上) → 左上

(左下) → 右上                                      (右下) → 左下

## 【指導のポイント】

子どもにとっては、とてもむずかしい問題です。まずは、透明の下敷きや教具などを使って、実際に2つの絵や模様を折って重ねて見せてあげて下さい。前のページの問題とは、重ねかたが違うので、注意させて下さい。

重ねる前と、重ねた後の様子をよく観察させて、問題の意味をしっかりと理解させましょう。

濁音（ざ行）

月 日 なまえ

A - 7 - 1

ぞ

じ

ず

ぜ

ぞ

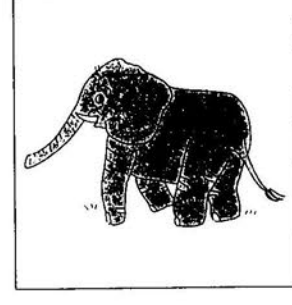
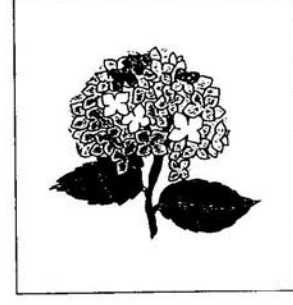
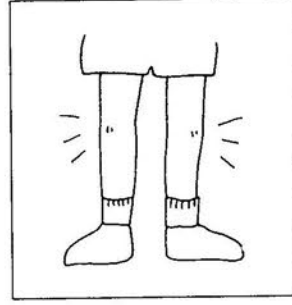
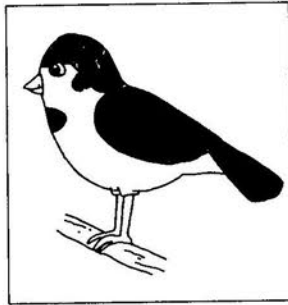
すずめ

ぜんざい

ぞう

あじさい

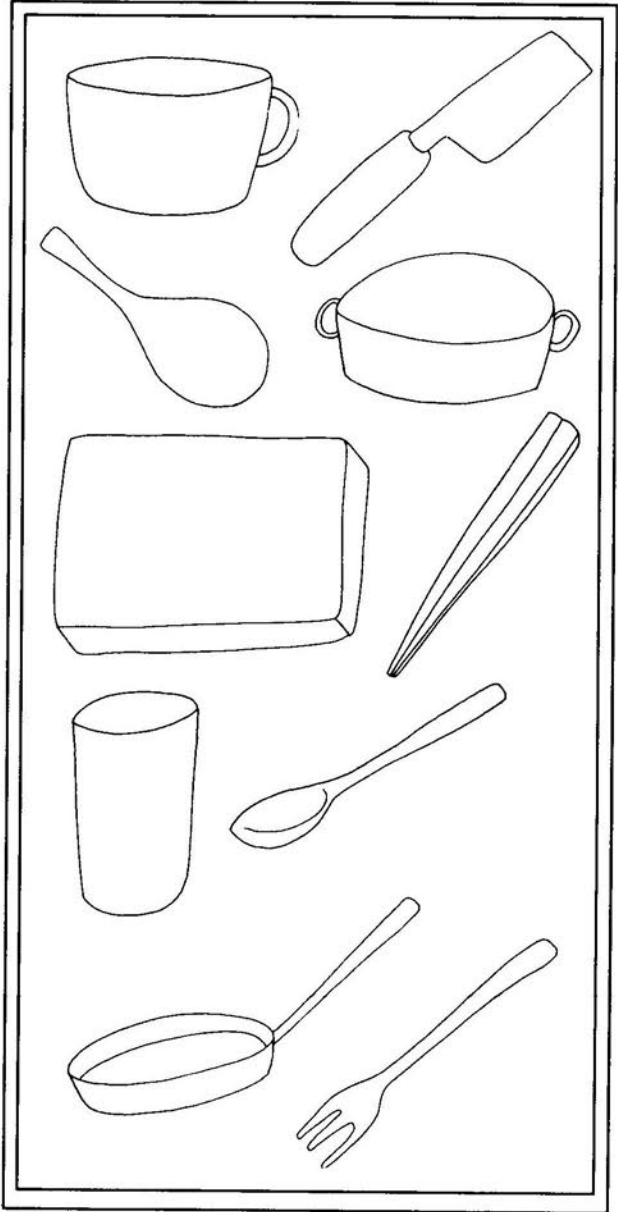
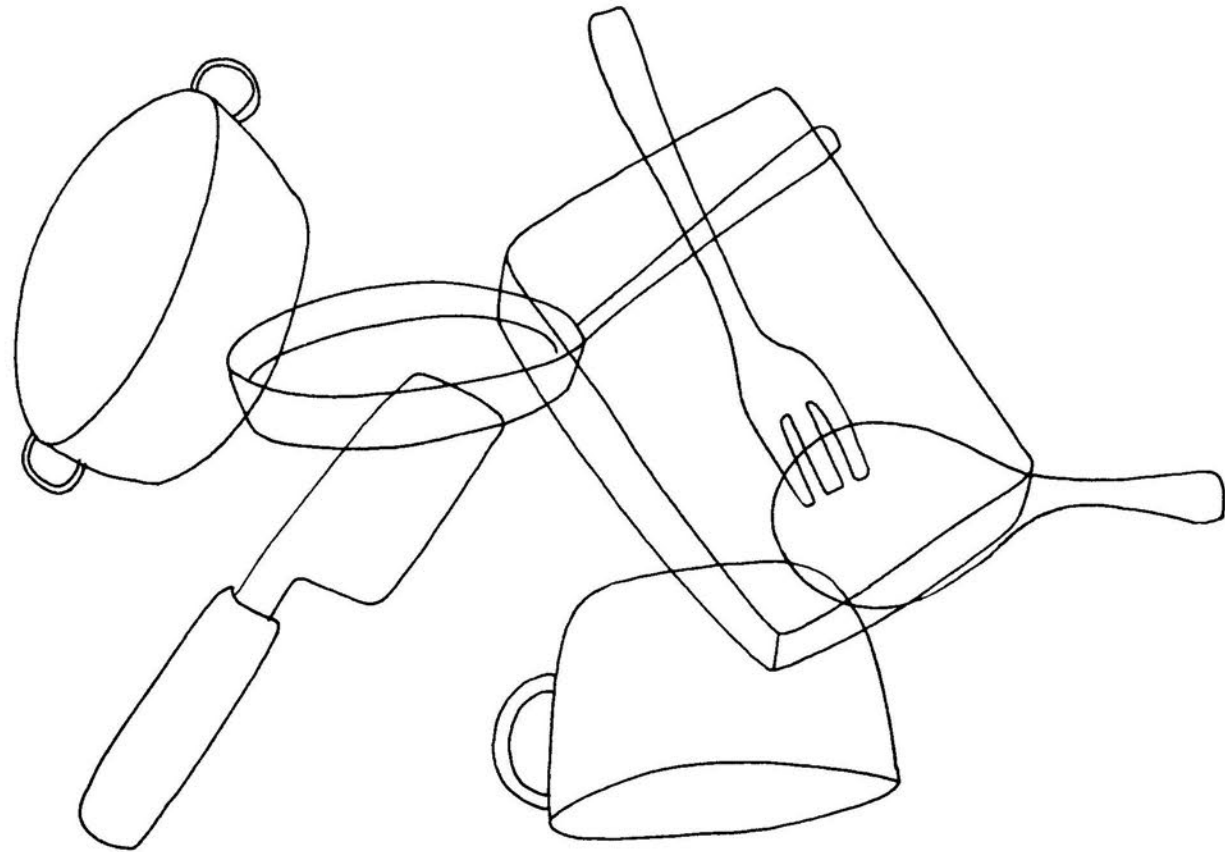
ひざ

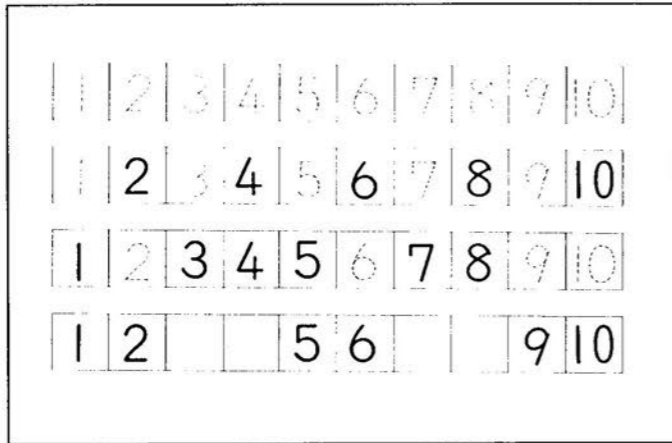


# 重ね図形 ①

月 日 なまえ

A - 7 - 16





## 【問題】

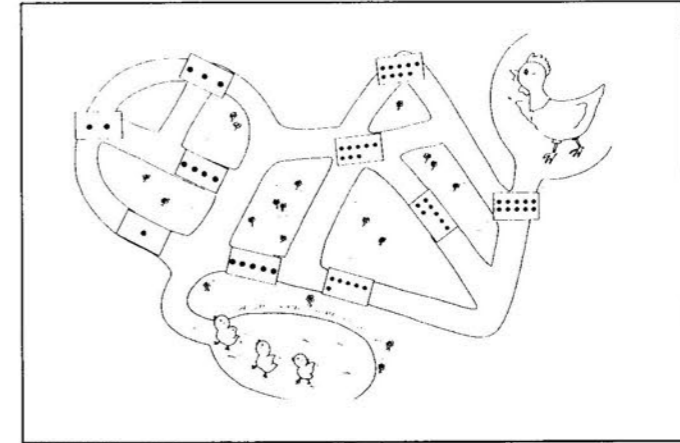
- 1から10まで、数字をなぞって書きましょう。  
(書けたら、1から10まで、数えてみましょう。)  
この中で、5より大きい数字に黄色の○をつけて下さい。
3. ぬけているところの数字を、なぞって書きましょう。
4. ぬけているところには、どんな数字が入るでしょうか。数字を書いて下さい。  
(言ってみてください。)

## 【解答】

(省略)

## 【指導のポイント】

数字の並びをしっかりと理解させましょう。数唱は、たし算の基礎になります。ドッツカードなどでも練習して下さい。  
「○より大きい数」というときは、「○」は含まれないことも説明してあげて下さい。



## 【問題】

ひよこが、にわとりのところまででかけます。  
道にあるドッツ(●)を、1から10まで順に通っていくように、赤で線をひいて下さい。

## 【解答】

(省略)

## 【指導のポイント】

「イチ、ニ、サン、・・・」と声に出して数えながら、線をひかせるとよいでしょう。

系列完成 ③

月 日 なまえ

